1-2 ウエペケレ

「ユク シキ セイレカ」

鹿の目玉を炒る

語り手:貝澤とうるしの

イシカラ エムコ タ シノ ニシパ アネ ヒネ アナン ヒケ Iskar emko ta sino nispa a=ne hine an=an hike 私は石狩川上流の本当に裕福な男で、

パク イソン クル イサム イソン クル アネ、pak ison kur isam ison kur a=ne, 私ほどの狩の名人は他になく

ピリカ メノコ アマチヒ ネ ワ アヘコテ カッケマッ ポ ヘネ pirka menoko a=macihi ne wa a=hekote katkemat po hene 美しい女性が妻としていて、その妻がさらに、

イピリカコロ コロ…… コロ イヌヌケ コロ オカアン ペ ネ コロラ i=pirkakor kor... kor i=nunuke kor oka=an pe ne kor ora 私を盛り立て、尽くしてくれながら暮らしていたのですが、

ポサカン ワ ポエイコイトゥパアン シヌマ ポ へネ posak=an wa poeykoytupa=an sinuma po hene 私たちには子どもがなく、欲しいと思っていました。彼女はなおさら

ポ エイコイトゥパ コロ アン ハウェ エネ アニ po eykoytupa kor an hawe ene an h_i 子どもを欲しがっていてこのように言いました。

「コタン コン ニシパ シネ マッネポ コロ ワ カトゥ アヌカン ノイネ "kotan kor_ nispa sine matnepo kor wa katu a=nukar_ noyne 「村長には娘が一人いて、私が見たところ

ピリカ カトゥ ピリカ メノコ ネ ルウェ ネ ナ、ポンマッ ネ エトゥン ヤン。 pirka katu pirka menoko ne ruwe ne na, ponmat ne etun yan. 容姿の良い美しい女性ですよ。妾として貰ってください。

ヤクネ ポ コロ ヤクネ イコイヨマプ ポカ アン クシ ネ ナ」
yakne po kor yakne ikoyomap poka =an kus ne na."
それで子どもが出来たならば(その子を)かわいがることだけでも出来るのですから。」

シコロ カネ ハウェアン ルウェ ネ コロカ アエランポキウェン sekor kane hawean ruwe ne korka a=erampokiwen そのように言います。しかしそれではかわいそうだ

アイルシカレ カ エランポキウェン クシ アコソモタシヌ ワ a=iruskare ka erampokiwen kus nena a=kosomotasnu wa 彼女に腹立たしい思いをさせたりするのもかわいそうだと思い知らぬふりをして

アナナ プ コント イペ カ ソモ キ ノ チシ コロ イェ ヒ クス an=an a p konto ipe ka somo ki no cis kor ye hi kusu いたのですが、しまいには食事もとらずに泣きながら(そのことを)言うので

オラウン アエトゥン アクス ポン ユピヒ ポロ ユピヒ オナハ ウヌフ アン oraun a=etun akusu pon yupihi poro yupihi onaha unuhu an とうとう妾を貰いました。下の兄、上の兄、父親、母親とその人にはいたのですが、

ペネプラムオシマパヒネマッネアエトゥンヒネポンマッネ pe ne p ramuosma pa hine mat ne a=etun hine pon mat ne 皆同意してくれたので妻として、妾として

アコン ルウェ ネ アクシ ナニ ホンコロ ヒネ、ピリカ オッカヨ ポイソン a=kor_ ruwe ne akus nani honkor hine, pirka okkayo poison 貰い受けたところすぐに妊娠し美しい男の子を産みました。

コン ルウェ ネ アクス オラノ ネア イウヌネ プ テケヘ ケレ シリ カ kor_ ruwe ne akusu orano nea iunune p tekehe kere siri ka しかしそれからは産んだ母親の手が赤ん坊に触れるという様子は

イサム ノ アポロマチ パテク フライェ ネ ヤ カイ ネ ヤ キ isam no a=poromaci patek huraye ne ya kay ne ya ki 無く、本妻だけが、洗ったり、おぶったりと

ソレクス アリキキ プ ネ クシ ネン ネン ヌカンヌカラ コロ オカアン sorekusu arikiki p ne kus nen nen nukannukar kor ok=an それこそ一生懸命になって、なにやかやと面倒をみながらいました。

ルウェ ネ アイネ タネ パシテッテレケ アプカシ ワ エアラキンネ ruwe ne ayne tane pastetterke apkas wa earkinne そうして、もう、よちよち歩きをするようになり、とても

スクパシヌ ワ ポ アエヤイコプンテク コロ オカアン ラポッケ sukupasnu wa po a=eyaykopuntek kor oka=an rapokke 成長がよいので一層、私たちは喜びながら過ごしました。そうやってしばらくの間は

タネ アコロ ソン アエヤム マ ソモ キムナン ア コロカ tane a=kor son a=eyam w_a somo kimun=an a korka その子を大切にして山猟にも行かなかったのですが

ハンケ クチャ チセ カ アコッ トゥイマ クチャ チセ カ アコロ hanke kuca cise ka a=kor_ tuyma kuca cise ka a=kor 私は近くにも、そして遠くにも狩り小屋を持っています。

ペネヒクス pe ne hi kusu ですので、

「トゥイマ クチャ チセ オルン アラパアン クシ ネ ナ。アコロ ソン "tuyma kuca cise or un arpa=an kus ne na. a=kor son 「遠くの狩小屋へ行ってくるよ。私の息子を

エヤム ウタシパ ウエヤム ノ オカ ヤン」 eyam utaspa ueyam no oka yan." 大切に、二人で代わる代わる大切にしていてくれよ。」

シコロ ハウェアナン コロ アラパアン ルウェ ネ イネ イナウロシキアン sekor hawean=an kor arpa=an ruwe ne h_ine inawroski=an と言い残して、行きました。イナウを立てたり

したり トゥナシ アラパアン ペ ネ クス キ ヒネ、 SITARI tunas arpa=an pe ne kusu ki hine, 早い時間に出発するのでイナウを立て

ヤイェイノンノイタカン シオカ ウンノ キ ヒネ オラウン エキムネアン yayeynonnoitak=an sioka unno ki hine oraun ekimne=an 自分の無事を祈り、自分が去った後の無事を祈ってそれから、山へ狩に入りました。

レウシ アナニネ エキムネアナ クス ナニ エ…… アラパアン オウシ (?) rewsi an=an h_ine ekimne=an akusu nani e... arpa=an ous(?) (狩り小屋に) 泊まり、山に入るとすぐ、行ったあとに (?)

クワリアニネ オラウン イワカン タネ シリコクンネ kuwari=an h_ine oraun iwak=an tane sirkokunne 仕掛け弓をとりつけ、そして(狩り小屋に)戻りました。もうあたりが暗くなるころに

アン ノ イワカン ペ オラウン エクシコンナ シオカオポタラアニネ an no iwak=an pe oraun ekuskonna siokaopotara=an h_ine 戻ったのですが、それからきゅうに自分の来た後(村)のことが心配になりました。

エアラキンネ ウェンルイ ウェンルイ イノンノイタカン コロ アナン アイネ earkinne wenruy wenruy inonnoitak=an kor an=an ayne なので、とても強く激しく神への祈り言葉を唱えながらいたのですが

オラウン コント アウェ…… アクウェヘ カムイ オシマ したんだとよ。 oraun konto a=we… a=kuwehe kamuy osma SITANDATOYO. そうしているうちに、仕掛け弓に熊が掛ったのです。

(萱野: うんうん)

ば…… オヌマン ネ コロカ オシマ ペ ナニ オラウン サマ タ BA… onuman ne korka osma pe nani oraun sama ta もう夕方だったのですが、熊が仕掛け弓にかかったのだが、すぐに掛った熊の側に

カムイ アニスキネ アアヌ テキネ オラ kamuy a=nisuk h_ine a=anu tek h_ine ora 神にお願いし (話し相手の神を) さっと置いて^[1]

イタカナウェ エネ アニ。
itak=an h_awe ene an h_i.
私が語った言葉はこのようなものでした。

「マク ネ フミ ネ ヤ シオカオポタラアン ワ ウェン ルイ クス "mak ne humi ne ya siokaopotara=an wa wen ruy kusu 「どういうわけか、自分の残して来た後が心配でどうしようもないので

クンネ ヒ ネ ヤッカ サナン クス ネ ナ、オハ カムイ オハ ピト ネ kunne hi ne yakka san=an kusu ne na, oha kamuy oha pito ne 暗い中ではありますが山を下ります。同じ神どうし、尊い神どうしなので

カムイ フチ トゥラノ ウエネウサラ ヤン」 kamuy huci turano uenewsar yan." 火の神と共に語り合っていてください。」

シコロ ハウェアナン コロ パサン カネ^[2] テレケアン カネ サナン。 sekor hawean=an kor pas=an kane terke=an kane san=an. そう言い残し、駆けるごとく跳ねるごとく(急いで)山を下りました。

アイネ タネ シリコクンネ ノ アニネ アウニ タ サナン ayne tane sirkokunne no an h_ine a=uni ta san=an そしてもう、真っ暗になりそうな中、私の家まで下がりました。

エ…… アコタヌ タ サナナクス アウニヒ ウン ソネ アイヌ オラ (?) e... a=kotanu ta san=an akusu a=unihi un sone aynu ora(?) 村に下ると私の家ではXXX (?)

アイヌ ソイェンパ したり アフプ したり キ シリ アヌカラ コロカ aynu soyenpa SITARI ahup SITARI ki siri a=nukar korka 人々が出入りしている様子が見えたのですが、

アッカリ アポンマチ ウン アラパアナクス シネン ネ アニネ オラ akkari a=ponmaci un arpa=an akusu sinen ne an h_ine ora そこを通り越し妾の所へ行くと、彼女は一人っきりでいて

ヘマンタ ス アニ セイレカ コラン。 hemanta su ani seyreka kor an. 何かを鍋で炒っているのです。

エアラキンネ イエヌ (?) ウルコサンパ シン ネ ノイネ イキ earkinne ienu(?) urukosanpa sir_ ne noyne iki (私の存在に気づき) 彼女は急にひどく、ぶるっと震えたようになり (?)

イエラムトゥイ ノイネ イキ コロ i=eramutuy noyne iki kor 私に対してびっくりした様子でいます。

「マク エイキ シラン? フンタ エカラ? フンタ エカラ?」
"mak e=iki sir an? hnta e=kar? hnta e=kar?"
「お前は何をやっているんだ。何を作っている?何を作っている?」

シコロ ハウェアナン。 sekor hawean=an. と私は言い

「フンタ エカラ シリ アナン (?)? ソモ ネプ カ アエラナク コロカ "hnta e=kar siri an=an(?)? somo nep ka a=eranak korka 「お前は何を作っているんだ。何も気になることはなかったのだが

シオカオポタラアン ワ サナナワ マク ネ ヒネ エネ siokaopotara=an wa san=an awa mak ne hine ene 残して来たあとが心配になり山を下りてきたのだ。なぜあのように、

アウニ ウン アイヌ アフプ ソイェンパ シリ アン?」 a=uni un aynu ahup soyenpa siri an?" 私の家を人が出入りしているんだ?」

シコロ ハウェアナナクス イポロ ウン シリ シンナイノ アン コロ sekor hawean=an akusu iporo un siri sinnayno an kor と言うと、妾の顔色が変わり

ス ウコポイポイエ ラポク ネプ カ ポロ ノ マク カトゥ カ su ukopoypoye rapok nep ka poro no mak katu ka 鍋の (中身を) かき混ぜています。そのうちに何だか大きくて (大きくなって) (?) 何なのか

アエランペウテク ペ オラウン エクシコンナ ソレクス a=erampewtek pe oraun ekuskonna sorekusu 分からないものが(あり) そして突然に、それこそ

ニ エヤシペレパ へネ フム ネノ カネ ヘマンタ プシ ni eyasperpa hene hum neno kane hemanta pus 木を裂き割るような、何かがその鍋から破裂する音がしました。

ネア ス オロワ^[3] (?) イエイリパク ネア ペコロ ネア アコロ nea su orwa(?) ieirpak nea pekor nea a=kor (それに) 続いてといったふうに私の

ほんけ オロ ワ オッカヨ ネ フミ アシ ペ ホユプ ヒネ アラパ ヒネ HONKE oro wa okkayo ne humi as pe hoyupu hine arpa hine 本家から男が走ってきたような音がして

「マク ネ ヒネ アイヌ ニシパ サン ルウェ ネイケ オラ "mak ne hine aynu nispa san ruwe ne h_ike ora 「どうしてあなたは山から下りてきたのに

シラッカリ ルウェ アン? エヘコテ カッケマッ マウェ トゥイ ナ!」 sirakkari ruwe an? e=hekote katkemat mawe tuy na! " (本家を) 通り越したのですか? 奥さんが亡くなりましたよ!」

シコロ ハワシ エアラキンネ ソレクス アエラムコエシカリ ラポッケへ sekor hawas earkinne sorekusu a=eramkoesikari rapokkehe と言います。本当に、それこそ私は驚いたのですが、そうする間にも

「マク エイキ シリ アン? アン?」

"mak e=iki siri an? an?"

「お前は何をしたんだ?」何をしたんだ?」

シコロ ハウェアナン コロ サパ ウシ ペ アテッコノイェ アクス sekor hawean=an kor sapa us pe a=tekkonoye akusu そう言いながら、私が妾の髪を手でねじり込んでいると

ラポク ユプタリ アフプ シリ エネ アニ ウレンテッコロ トゥン ネ ワ rapok yuputari ahup siri ene an h_i urentek kor tun ne wa そこに妾の兄たちが入って来て 2人して両手で

オトピ キシマ ワ エシリキク パ オテッテレケ パ otopi kisma wa esirkik pa otetterke pa 髪の毛をつかみ、バンバン叩きつけ、ガンガン踏みつけ

アライケ ノイネ シリキ シリ a=rayke noyne sirki siri 妾が殺されそうな様子を

アヌカッ テク コロ エカニネ アコロ ほいさい オロ タ エカニネ a=nukar_ tek kor ek=an h_ine a=kor HOISAI oro ta ek=an h_ine ちらっと見つつも本妻の所へ来てみると

ニシパ ウタラ ウコパラパラク メノコ ウタラ カ ウコパラパラク nispa utar ukoparaparak menoko utar ka ukoparaparak 男たちは、わあわあ声を上げ泣いており、女たちもわあわあ泣いています。

アウコテマッパレ(?) ヤッカ ナニ マウェ トゥイ ルウェ ネ。 a=ukotematpare(?) yakka nani mawe tuy ruwe ne. XXX(?) しても、妻はすぐにこと切れたのです。 オラノ チサナ アナ ケウ クルカシ アエヤイシル パ (?) コロ orano cis=an a =an a kew kurkasi ayaysiru pa(?) kor そして、私は泣きに泣いて、体の上にXXX (?) しながら

エネ ネ ワクス サマ アコヤヤプテ ワ アイェ イケ カ
ene ne wakusu sama a=koyayapte wa a=ye h_ike ka
これだから身の回りのことに(?)気を付けるようにと妻にも言っていたのに (?)

アコロ カッケマッ ハウェアナ ワ a=kor katkemat hawean a wa 妻も(気を付けると)言っていたのに(?)

「マカン クス エネ シリキ アン!」
"mak an kusu ene sirki an!"
「どうしてこんなことになったんだ!」

シコロ アン ペ アイエ コロ ヤイエカラカラセレアン。 sekor an pe a=ye kor yayekarkarsere=an. と言いながら私は (その怒りと悲しみで) のたうちまわりました。

ソレクス チサナ アナ イノンノイタカン コロ キ ルウェ ネ ア プ、 sorekusu cis=an a =an a inonnoytak=an kor ki ruwe ne a p, それこそ泣きながら、神に祈り言葉を唱えながらいたのですが

ネロク マタパ コロ ウタラ マタパ カン ロキネ nerok matapa kor utar matapa kar_rok h_ine あの兄たちは妹 (妾) を懲らしめ (叩いたり、踏みつけたり) て

ロンヌ ルウェ ネ アカイェ コロ オラウン アコタヌ ワ ronnu ruwe ne y_ak a=ye kor oraun a=kotanu wa 殺したということです。そして私の村から

アコタヌ ウン ウタラ イエプリウェン ペ ネ クス ネア アコロ カッケマッ a=kotanu un utar i=epuriwen pe ne kusu nea a=kor katkemat 村の人たちが、私に同情し、私の本妻を

カッケマッ アオスラ クニ オッカシケ タ アオスラ ソレクス チサナ アナ katkemat a=osura kuni okkasike ta a=osura sorekusu cis=an a =an a 淑女を葬るように普段以上によく埋葬してくれました(?)。私は泣いて泣いて

オラ ネア アコロ ソン アヤイコルイルイパ コロ チサナ アナ ora nea a=kor son a=yaykoruyruypa kor cis=an a =an a そうして息子を何度も何度も撫でながら泣いて泣いて

ウヌフ アライケ ヒ ネ ヤッカ unuhu a=rayke hi ne yakka 母親が殺されたというのに

ウヌ エオナ アナク アラパ カ ソモ キ ノ (?)
unu e=ona anak arpa ka somo ki no(?)
お前の父親は (その時) お前の母親 (のところに) 行ってやることも出来なかったというのに
(?)

アテムニコロ オマ プ ネ クス a=temnikor oma p ne kusu 私の腕の中で抱かれているのが一層憐れで (?)

アヤイコルイルイパ コロ チサナ アナ a=yaykoruyruypa kor cis=an a =an a 何度も何度も息子を撫でさすりながら泣き続けました。

アイネ オラ アコロ カッケマッ アオスラ イネ イサム ルウェ ネ ア プ ayne ora a=kor katkemat a=osura h_ine isam ruwe ne a p そのように妻は埋葬されもういないのですが

トゥッコ レレコ シラン コロ ウェンタラパン。タネ アン ピリカ tutko rerko siran kor wentarap=an. tane an pirka 2、3日たつと、私は夢をみました。今までの美貌が

シアラウェンルイ イネ イヨシノ アニネ エネ ハウェアニ siarwenruy h_ine i=os no an h_ine ene hawean h_i なお一層増し見たことも無いほど美しい姿の本妻が私の後ろに立ちこのように言いました。

「タン アヘコテ ニシパ イタカン ワ エイヌ カトゥ エネ アニ、
"tan a=hekote nispa itak=an wa e=inu katu ene an h_i,
「私が夫よ、私が語りあなたが聞く様子とはこのようなものです。

カッ タクピ ピリカ コロカ ワ オアラ ケウトゥム アラケヘ ウェン ペ kat takupi pirka korka wa oar kewtum arkehe wen pe 容姿ばかりよくても、まったく心の半分は悪であったのがあなたの妾です。

ネ アアン ペ アシヌマ アナゥ イヨマプエイコイトゥパアン クス ne aan pe asinuma anak iomapeykoytupa=an kusu 私は子どもをかわいがりたいばかりに

アエコテ ニシパ ラム アエコイキ アイネ トゥラノ アナン ワ a=h_ekote nispa ramu a=ekoyki ayne turano an=an wa あなたの心を悩ませたあげく、(妾と) 一緒に暮らすことになって

オッカヨ ヘカチ アコロ ワ アエヤイコプンテク ワ クシ ネノ ネ ヤク okkayo hekaci a=kor wa a=eyaykopuntek wa kus neno ne yak 男の子を授かって私はうれしかったので(?)そのように

ラクン (?) エヤッキル (?) シ クシ (?) rakun(?) eyakkiru(?) si kus(?) X X X X X (?)

アシヌマ パテク アカイ アオマプ asinuma patek a=kay a=omap 私ばかり負ぶってかわいがっている

ネ ワ アン ペ エウェイサンペコロ クス パクノ アシトマ プ イサム ペ ne wa an pe eweysampekor kusu pakno a=sitoma p isam pe ことを妾はおもしろくなく思っていたのです。これほどまでに恐ろしい物はないといえるのが

ユク シク ネ ルウェ ネ プ、ユク シク トゥプ ウク ワ アン ワ アン ペ yuk sik ne ruwe ne p, yuk sik tup uk wa an wa an pe 鹿の目玉なので鹿の目玉を2つ取っておいた物を、

オラウン ミンタラ ケシ タ アラパ イネ ピノ ホリピ キ コロ oraun mintar kes ta arpa h_ine pino horipi ki kor そうして庭の端に行っては秘密の舞を踊りながら

クワ コロ ワ ピノ ホリピ キ コロ イタカウェ エネ アニ kuwa kor wa pino horipi ki kor itak h_awe ene an h_i 墓標を持って秘密の舞を踊りながら唱えた言葉とはこのようなものです。

『タン ユク シク アセイレカ ヤクン アスコセイレカ ヤクン 'tan yuk sik a=seyreka yakun a=sukoseyreka yakun 『この鹿の目玉を炒ったならば、鍋で炒ってそして

プシ ヤク エイリパク タアン ほいさい マウェ トゥイ クシ ネ ナ』 pus yak eirpak taan HOYSAY mawe tuy kus ne na!' はじけ飛べば、それに続きこの本妻の息はこと切れるのだ!』

シコロ アン ペ イェ コロ ホリピ ヒネ オラウン イキ ヒネ アン ペ sekor an pe ye kor horipi hine oraun iki hine an pe そういいながら舞い、そうしていると

ソレクス ユク シク アニ アエイノンノイタク ワ ライアン ルウェ ネ ワ sorekusu yuk sik ani a=eynonnoitak wa ray=an ruwe ne wa それこそ鹿の目玉を使った術によって私は死んだのです。

アエコテ ニシパ カトゥン シリ キ シリ アヌカラ コロ ポ へネ a=h_ekote nispa katun siri ki siri a=nukar kor po hene あなたの様子を見るにつれなおさら

イルシカアン ばかくさいアン コロ アナン コロカ iruska=an BAKAKUSAI=an kor an=an korka 腹立たしく、馬鹿馬鹿しいとも思えるのですが

アシヌマ レンカイネ ネ クシ ネイ ワ カ ピリカ ワ オケレ メノコ エク ワ asinuma renkayne ne kus ney wa ka pirka wa okere menoko ek wa 私の力、意思により、どこからか美しい女が来るので

マッ ネ エコレ ヤク オッカヨ ポ マッカチ ポ コロ ヤクン mat ne e=kore yak okkayo po matkaci po kor yakun あなたが嫁として迎え入れれば男の子、女の子も授かり

パク エチウエピリカ ペ イサム オアシ ルウェ ネ ワ オラウン pak eci=uepirka pe isam oasi ruwe ne wa oraun あなたたちほど皆が幸せな家族は他にないというふうになるでしょう。それから

メノコ ネ イケ ウエインカラ ワ ネ ワ アン ペ ポ menoko ne h_ike ueinkar wa ne wa an pe po 女の子の方は透視能力がある子なので、それによっても、あなたたちはなお一層

エチエピリカ ナンコロ クス オラウン eci=epirka nankor kusu oraun 繁栄するでしょう。そうして

『アコロ カッケマッ アヌラッパ ナ。』 'a=kor katkemat a=nurappa na.' 『わが妻よ、供養しますよ。』

シコロ アン ペ イテキ オイラ ノ イヌラッパ sekor an pe iteki oyra no i=nurappa と言うのを忘れずに私の供養をしなさい。

アコロ カムイ オロワノ シンリッ オロワノ a=kor kamuy orowano sinrit orowano 私は神の国、先祖の国にいてそこから

アコロ ソン ウタラ アエプンキネ クシ ネ オラウン アエケムヌ クス a=kor son utar a=epunkine kus ne oraun a=e=kemnu kusu あなたの子どもたち (?) を私が守ります。そして私はあなたを憐れんでいるので

オンネ パク シペッテク パク ピリカ スクプ エキ ワ onne pak sipettek pak pirka sukup e=ki wa 死ぬまで、最後まで良い人生を送り

ピリカ オンネ エキ クニネ エセレマカ アウシ クシ ネ ナ」 pirka onne e=ki kunine e=seremaka a=us kus ne na." 天寿をまっとうするように見守っていますよ。」

セコロ ハウェアン イオシノ アン ワ ヌペコラパプセ コロ sekor hawean i=osno an wa nupekorapapse kor と言いました。私の後ろで涙をこぼしながら

キ ヤク アタカラ。オラウン ki yak a=takar. oraun 言う夢を見た。そこで、

ポ チサナ アナ コロ、ネア アコロ ソン アヤイコオマプ コロ po cis=an a =an a kor, nea a=kor son a=yaykoomap kor さらに私も泣きに泣きました。我が子を一人でかわいがりながら

アナナイネ ソンノ カ ネア ヒナク ワ エク メノコ ポ an=an ayne sonno ka nea hinak wa ek menoko po 過ごしました。そうしていると本当にどこからか若い女 (?) がやって来て

オムケ オムケ コロ シケウレク(?) クシ アアフンテ クシ アイェ ア プ、 omke omke kor sikewrek(?) kus a=ahunte kus a=ye a p, 咳払いの (来訪を知らせる) 声が門口でしたので私は入るよう言いました。

イヨッ タ アン ワ イパロスケ イピリカコロ コロ オカアナイネ i=or_ ta an wa i=parosuke i=pirkakor kor oka=an ayne (彼女は) 私のところにいて食事やらなんやらと私の面倒を見てくれながらいて、そして

ホンコロ アクス マッカチ コロ ルウェ ネ ヒネ アエヤイコプンテク コロ honkor akusu matkaci kor ruwe ne hine a=eyaykopuntek kor 妊娠し、女の子を産んだので嬉しく思いながら

オカアナプ はなしはやい ヒネ スイ オッカヨ コン ルウェ ネ ワ oka=an a p HANASIHAYAI hine suy okkayo kor_ ruwe ne wa 過ごしました。話を早く進めると、また次には男の子が生まれ

ピリカ オッカヨ ヘカチ コロ ワ アコロ ソン ウタラ エネ pirka okkayo hekaci kor wa a=kor son utar ene 美しい男の子が生まれ、私の子どもたちはこのように

ウサットゥラシ コロ オカアナイネ ソレクス ルプネ タネ オピッタ usatturasi kor oka=an ayne sorekusu rupne tane opitta 下座にずらっと座って暮らして、それこそ今ではみな成長して

ルプネ オラノ ネア キムン カ アエイケスイ ワ オラウン ネロク rupne orano nea kimun ka a=eykesuy wa oraun nerok 大きくなり、そうして私は山猟も嫌になり行かないでいて

シウト ネ アコロ オッカイポ ウタラ ユクライケ カムイ ライケ ヤッカ siwto ne a=kor okkaypo utar yuk rayke kamuy rayke yakka 私が舅となる (娘の旦那たち) 若者たちが鹿でも熊でも獲っては

イコアンパ パ イコレ パ ワ アコロ ソン ウタッ トゥラノ アエ コロ i=koanpa pa i=kore pa wa a=kor son utar_ turano a=e kor 私のところに運んでくれ、私にくれるので子どもたちとそれを食べながら

オカアン アイネ ソンノ カ タネ アコロ ヘカッタン ルプネ oka=an ayne sonno ka tane a=kor hekattar_rupne 過ごしています。そうして本当に私の子どもたちも成長したので

ルウェ ネ アクシ マッカチ ネ イケ タネ ポロ マッカチ ネ プ ruwe ne akus matkaci ne h_ike tane poro matkaci ne p 娘のほうは今ではもう立派な娘になり

オラウン シイェイェ モト ネ ヤッカ ネプ ネ ヤッカ イェ oraun siyeye moto ne yakka nep ne yakka ye 病気の原因であろうが何であろうが

アコピシ コロ キ a=kopisi kor ki 私が尋ねると言い当てます。 オラウン ペッ トゥラシ ノチウ ウエエ…… ウエ (?) ペコロ oraun pet turasi nociw uee... ue(?) pekor そして川に沿って星が川下から (?) かのように

アラキ シリ アヌカラ コロ アナクネ arki siri a=nukar kor anakne 上がってくる様子があればそれは

『カムイ パ エク クシ シリキ ネ ナ』 'kamuy pa ek kus sirki ne na' 『疫病の神がやって来る様子なのですよ。』

シコッ タレ (?) [4] ハウェアン ペ ネ クシ ネノ アエトゥナンカラ ワ sekor_ tare(?) hawean pe ne kus neno a=etunankar wa と言うので、そのようなことに会えば、

イチャラパアン したり ネン ネン キ ワ ネプ アエシリキラプ カ icarpa=an SITARI nen nen ki wa nep a=esirkirap ka 供養をしたり何やかやとしているので、何が心配だとも

ネプ アシトマ カ ソモ キ ノ オカアン クシ タプネ カネ ヤイスクプカアン nep a=sitoma ka somo ki no oka=an kus tapne kane yaysukupka=an 何が恐ろしいとも思わずに過ごしているのですが、このようなつらい記憶があるので

ペネ アクシ アポウタリ アエパカシヌ ナ。 pe ne akus a=poutari a=epakasnu na. 子どもたちよ、話しておくぞ。

ネプ ネ ヤッカ アヌ ワ オカアン ペ ネ クス アイェ ハウェ ネ ナ。 nep ne yakka a=nu wa oka=an pe ne kusu a=ye hawe ne na. 何でも私が聞いたことなので言っておくのだぞ。

シコロ イシカラ エムコ ウン ニシパ イソイタク。 sekor Iskar emko un nispa isoytak. と石狩上流の男が語りました。

(萱野:はい、どうも有難う御座います。)

【注】

- [1] このような時にネウサラカムイ newsar kamuy「話し相手の神」というものを作り、熊のそばに立てておくということである(萱野茂、1978『アイヌの民具』(すずさわ書店): 263)
- [2] 音は「カレ」のようにも聞こえるが、文脈からカネ kane とした。
- [3] オロワ orowa の後に k のような音が聞こえるが不明。
- [4] 音は「タレ」のように聞こえるが、あるいは カネ kane か。